

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「お寺の跡取りが美少女幽霊にビキニを着せようとした結果、妹と先輩がくっついていました」

テーマ:「真夏なのにコートを脱がない美少女」

キャラクター

50

ストーリー

45

テーマ(設定)

60

文章力

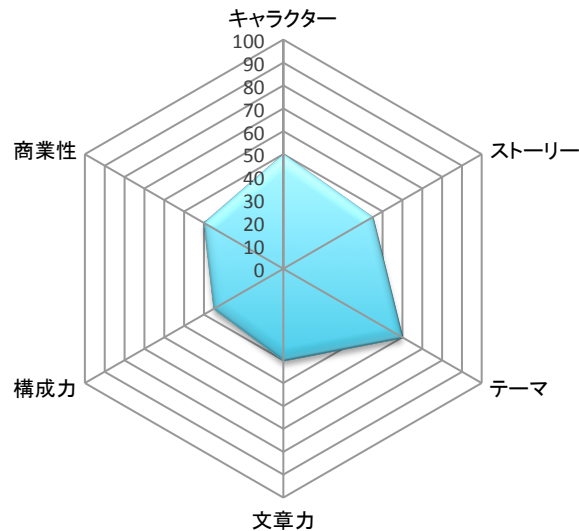
40

構成力

35

商業性

40



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・コート幽霊美少女という設定自体個性的で面白いものであるのに、さらにそれを脱がせてなんとしてでもビキニを! という発想力にはただただ脱帽する。一体何をきっかけにこれら思いついたのか教えて欲しいくらい。+2
・ただこのインパクトが強い設定を軸とおいたからには、全編この設定を中心に話を進めた方が面白かったのではないかと感じる。「この設定で物語を進めることが面白いのになんで妹の恋話はさまってくるんだろう」という印象は受けざるを得ない。もしくは、この妹恋話と幽霊話がラスト意外なところで繋がってくるという構成であるなら、それはそれでかなり面白い試みだったのではないかと感じる。
・このことによる減点は行っていないが、題名は変えた方がよいと思われる。本編かなりシリアスな作風であるため、この題名をみてギャグ的なラブコメを期待した人が実質裏切られた形となって、感想欄に低い点数と評価をつけていく可能性が高い。

合計加点ポイント 2

総得点: 270 / 600

B方式総合得点: 12350 点